

特集 「認定看護師」



地域医療の最前線	… 2
特集 topics	… 5
患者総合支援センターのご案内	… 7
Bein'Green -連載コラム-	… 8
街のあかり	… 9
News&Communications	… 11

編集後記

冬の寒さが本格化し、街路樹のイルミネーションが輝きを増す季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今回の広報誌では、冬に増えるといわれる循環器疾患を特集いたしました。寒くなると血管が収縮し、血圧が上がりがやすくなるため、心筋梗塞や脳卒中などのリスクが高まります。今回は循環器疾患に関する治療方法や当院の強みを具体的にご紹介しています。循環器疾患は命にかかわることがあるため、普段の生活習慣を見直すことが重要です。また、当院では、循環器疾患の早期発見・早期治療に力を入れて取り組んでおります。気になる症状がある方は、どうぞお気軽にご相談ください。

冬は、イベントも多く、楽しい季節です。健康に留意され、冬を満喫してください。



〒252-5188
神奈川県相模原市緑区橋本台 4-3-1
TEL: 042-761-6020 (代)
FAX: 042-713-3525
HP: www.sagamiharahp.com





の原因となっているプラークを削り取るDCA（方向性冠動脈粥腫切除術）という治療や、重症石灰化（動脈硬化が強く、硬くて風船で広げられない）病変にはロータブレーター、ダイヤモンドバックなど、硬い病変を削る器具を用いて治療を行うことがあります。患者様お一人お一人の病状、病変に合わせた最適な治療を検討し、ご提案させていただきます。

当科には冠動脈インターベンションの術者が9人在籍しており、そのうち5人が日本心血管インターベンション治療学会の上位資格である専門医を有しております。術者が他施設と比較し豊富なことから24時間365日緊急での治療も余裕をもって可能

当院 循環器センターの 強み

となっております。ここ数年は急性心筋梗塞に対する治療数は県内3位であり、全国でも有数の受け入れ数を誇ります。急性心筋梗塞や重症心不全に対する心臓補助循環装置も充実しており、大動脈内バルーンパンピング、PCPS、Impellaと国内で使用可能な装置は全て使用可能となっております。また待機的治疗においても、複雑で難しいカテーテル治療を当循環器センターは得意としており、一般的に治療難易度の高いとされる慢性完全閉塞に



においても治療成功率97.2%と全国平均を上回る成績を残しております。また当循環器センターは心臓血管外科専門医も2名在籍しており、良好な協力体制を築いております。ハートチームとして常に相談をおこない、最適な治療を提供しております。

地域医療の 最前線

循環器内科

「冠動脈インターベンション治療」



循環器センター長

杉本 篤彦 医師

資格
認定医

日本内科学会認定内科医 / 日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会施設代表医・専門医
厚生労働省臨床研修指導者 / 難病指定医 / 医学博士 / 東海大学非常勤講師

虚血性心疾患

虚血性心疾患とは、心臓の周りにある冠動脈が狭くなったたり閉塞したりすることで心臓への血流障害を起こす病気です。冠動脈は心臓の筋肉に酸素や栄養を送り込むはたらきをしています。虚血性心疾患は高血圧や糖尿病、喫煙、肥満などにより冠動脈が動脈硬化を起こすことを原因として発症し、労作性／安定狭心症と急性冠症候群（不安定狭心症／急性心筋梗塞）に大きく分類できます。

冠動脈 インターベンション 治療

冠動脈インターベンション治療（PCI）とは、冠動脈の狭窄部で風船をふくらませて広げ、その後ステントという金属の編み目状の筒を拡張し血管を広げる治療です。また冠動脈内の狭窄



池田 智子
認知症看護認定看護師

特集 Topics

私が認定看護師になつた理由

▼資格・お仕事内容について
この資格は認知症の人が安心して入院生活や在宅生活が過ごせるように、認知症の人やご家族、ケアに当たる職員に対してサポートする役割があります。当院は急性期病院のため、認知症の人が他の身体疾患を患って、手術や検査などを目的に入院し

ます。認知症の人は、環境の変化や痛みや眠れないなどの身体的苦痛により、さらに恐怖や不安を抱きやすく、医療者には適切な対応が求められます。そのため、週1回認知症ケアチームが病棟をラウンドし、認知症や認知症が疑われる患者さんの状態や、現在出現している認知症

の症状や対応方法、薬剤調整などを行っています。また、定期的に講習会を企画し、職員に認知症ケアに必要な知識やコミュニケーション方法、環境調整などを提案し、一緒に学んでいます。

▼資格取得を目指したきっかけ
上司の勧めで神奈川県看護職員認知症対応力向上研修に参加したことがきっかけです。研修で、改めて高齢者の身体的特徴や認知症について学ぶ機会を得て、今まで自分が行っていた看護を振り返ることができました。そうすると、認知症の患者さんの表情や行動の裏には訴えられないニーズがあり、そのニーズを分析してケアに繋げることが大切であると学びました。看護師は患者さんの最も近くにいられる

▼やりがい・今後の目標
認知症の患者さんが入院してくると、まずは患者さん本人やご家族とお話することから始まります。好きなことや昔の仕事、家族や故郷のことなどその患者さんのホッとできることは何かを考えます。そして、その情報を一緒に働いているスタッフに共有します。そうすると、日々の関わりの中で「○○さん、器用ですね、すごいですね」など患者さんを大切に思った言葉かけや表情にスタッフの対応も変化し、患者さんも安心して表情になり、心地よい環境を提供できます。そのような時、私も嬉しい気持ちになります。今後は個人的には院内デイケアを作るのが目標です。当院には3名の認知症看護認定看護師がいるので、みんなで協力して実施できればと思っています。

▼休日の過ごし方
お気に入りのカフェでゆっくりすることです！

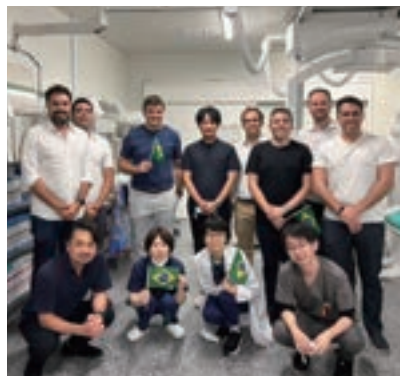


どんな症状で
受診することが
多いか

虚血性心疾患を発症すると、典型的には動くと胸が絞めつけられたり、圧迫感を自覚されます。狭心症の場合、症状は短時間で改善しますが、心筋梗塞を発症すると症状は持続し、命にかかわることもあります。虚血性心疾患の発症には日々の生活習慣が大きく関わっており、規則正しい生活が発症予防につながります。

最近のTOPICS

近年は国内、国外問わず他施設での治療、技術指導などを行っております。また当院への冠動脈インターベンション治療の見学も積極的に受け入れており、今年には日本だけでなく、インド、メキシコ、ブラジルから冠動脈インターベンション治療を専門とする医師が見学に訪れました。また



今年には日本有数のライブデモンストラーションである TOPIC 2024 (Tokyo Percutaneous Cardiovascular Intervention Conference, セルリアンタワー東急ホテル)で非閉塞複雑冠動脈インターベンション治療のライブオペレーターを務めました。

▶ 患者総合支援センターのご案内

患者総合支援センターとは？

患者総合支援センターでは相模原協同病院をご利用になる方や地域の皆さまが、安心して治療を受け、より快適な生活が送れるようお手伝いします。

次のような活動を行っています！

入院中またはご家庭で療養されている患者さんやご家族からの療養上の相談

リハビリや療養を目的とした転院に関する相談

経済的な悩みや社会福祉サービスに関する相談

患者会・びあサポート(がん体験者による相談)の実施

脳卒中相談窓口

セカンドオピニオンの窓口

がん相談支援センター・がん医療についての相談



例えばこんなときにご利用いただけます

- このままで家に帰れるのか心配
- 今後の療養先をどうやって決めたらいいか
- がんと言われたけどどうしよう
- お金のことが心配
- 介護保険を使うにはどうしたらいいの？
- セカンドオピニオンってなんだろう？
- がんのことを話し合う患者会やピアサポートについて知りたい

担当スタッフ紹介

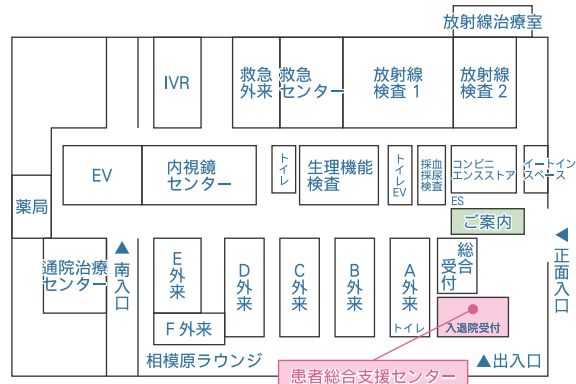
専門のスタッフが対応します。
ソーシャルワーカー(社会福祉士) / がん看護専門看護師 / 入退院調整看護師

ご利用の際には…

相談内容についての秘密を厳守することはもちろん、相談したことにより患者さんの皆さまやご家族の方々に不利益が生じることは一切ありません。

ご相談受付時間

月～金曜日 9:30～16:00
土曜日(第3休) 9:30～12:00
042-761-6020(代表)



▼資格・お仕事内容について
感染管理認定看護師は、患者さんや患者さんの家族、病院スタッフ、その他病院に出入りする全ての人を感染から守るために働いています。職員が感染管理に関する知識を身につけて実践できるための指導・教育、感染症が発生した場合の対応についての相談、感染対策マニュアルの作成、院内の感染の発生状況について情報収集を行って、感染を防ぐための対策を考えて実行することなどが仕事です。また、近隣の病院とも連携を図って、感染管理について情報共有をしたり、相談を受けたりしています。

▼資格取得を目指したきっかけ
看護部にはいくつかの委員会があり、それぞれの部署のスタッフが所属して委員会活動を行っています。私は長年感染リクナーズとして活動を行ってきました。活動を通じて感染対策の重要性を学び関心を持ち、より専門的な知識を深めてこれからの看護に役立てたいと思うようになりました。半年間の研修期間は、勉強

や実習などで大変なこともたくさんありましたが、同じ志を持つ仲間と共に過ごすことができ、とても充実した時間となりました。

▼やりがい・今後の目標
当院には感染管理業務に携わっている看護師が3名在籍しています。院内全体の感染管理の仕事は、これまでの看護師の仕事とは違うので覚えることが多く、まだまだ学ばなければならないと感じます。それでもインフルエンザやCOVID-19に罹患した患者さんの対応について相談を受けられるようになったり、1つ1つできることが増えていくことが今の私のモチベーションになっています。私は現在、病棟に勤務しています。入院されている患者さんがより安心・安全に入院生活を送れるように手指衛生の啓蒙やスタッフへの創部管理の指導など、感染管理の課題に取り組んでいきたいと思っています。また、感染管理は院内全体に関わることで、多職種との連携が欠かせません。知識ももちろん必要ですが、コミュニケーションもしっかり取りながら

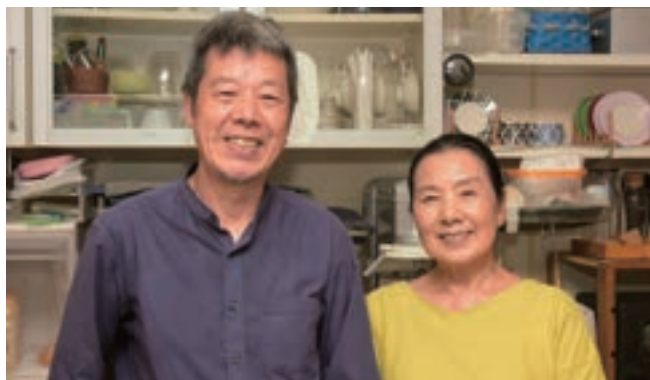


渋谷 恵梨子
感染管理認定看護師

共に感染管理を行えるようにしていきたいと思っています。

▼休日の過ごし方
休日はお家でゆっくり過ごすことが多いです。旅行やスポーツ観戦が好きです。





定年退職後のご夫妻が、自宅をリノベーションして開店した「おうちカフェ Fika」。家庭的な雰囲気の中で、健康にいいお食事やスイーツを楽しむことができます。ちょっと目立たない場所にありますが、人気番組「人生の楽園」や「孤高のグルメ」にも登場した知る人ぞ知るお店です。

街のあかり

- 地域 × 探索 -

vol.10

住宅街に佇む隠れ家カフェ
ご夫婦の温かな人柄に心が和む

おうちカフェ Fika



洋子の気まぐれランチ

¥1350(税込)

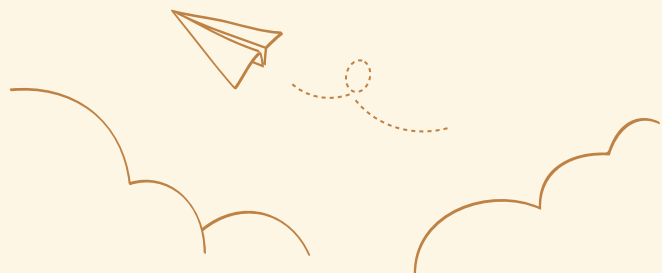
橋本駅から歩いて約18分、住宅街の中にあるおうちカフェ Fikaを訪ねました。お店を営む小野寺洋治さん、洋子さんが自宅を改装してオープンした一軒家カフェで、センスの良い友人宅のようなホッと落ち着く空間です。開放感いっぱいのテラス席もあり、庭の草花を愛でながら食事やスイーツを楽しむことができます。

お店の一番人気、1日10食限定の「洋子の気まぐれランチ」をいただきます。ご主人の洋治さんが毎朝焼き上げるトマトバジルのパンは、水や牛乳を使わずトマトの水分だけでつくるこだわりの逸品。国産小麦

の滋味深い味わいをベースに、トマトの酸味、こくのあるチーズ、バジルの豊かな香りが口いっぱいに広がります。実は洋治さん、カフェをオープンするためにパン焼きの修業をスタートし、腕を磨きました。トマトバジルのパンのほか、食パン、カンパーニユの3種を提供しています。スープとサラダ、主菜は、料理教室の先生でもある奥様の洋子さんが担当。「洋子の気まぐれランチ」の名通り、仕入先の状況やお天気、予約したお客さまによってメニューの内容を変えています。特徴は、地場の旬野菜をふんだんに使ったじんわり体に沁みる優しいお味。「お野菜が新鮮だから、

連載コラム Bein 'Green

Vol.10
「怠けたくてもやもや」



仕事場でこんなことを言うと怒られそうですが、私は正直、怠けたいです。だいたい日本では、明治維新で西洋からゴリゴリの個人主義、資本主義が入ってくるまでは江戸の町人なんて毎日2〜3時間しか働いてなかったそうですよ。原始時代などはきつと、狩りや採集の日以外は洞窟で焚火してこもっていたんじゃないでしょうか？お腹は空いてたかもしれないけど。今の一般常識では、ひとは毎日8時間以上勤勉に働き、努力して自己実現して夢をかなえて、経済的に成功することが良しとされています。なぜかがんばってもまだ足りない、まだ足りない、と常に急かされ、しかも結果が出せないとダメな人というレッテルを貼られて厳しい現実に見えます。自己責任というやつです。

ウソとは、
①人の価値は生産性で測られる
②自分の限界を疑え
③もっとできることはあるはずだの3つであるといえます。当たり前前に思っていたけど言われてみればウソっぽい。私たちは日々「もしかしたら自分は怠け者なのか」と自らを疑い「もっとがんばらねば」と人生をすり減らしているみたいです。要は全て思い込みの価値観であって、一種の集団催眠のように思えてきます。

最近「怠惰なんて存在しない」という本を読んで、なるほどと思いました。曰く、現代人は「怠惰のウソ」が支配する世界に生きている。その



Bein 'Green

「緑色であること」セサミストリートのかえるのカーミットが唄う名曲です。自分らしさを誇れるっていいよね、という意味合いがあります。

文：橋爪 正明
緩和ケア科診療部長

▶2024年9月13日

当院とハローワーク相模原が事業の協定を締結しました。

当院とハローワーク相模原は、がん等の疾病により長期療養（経過観察・通院など）が必要な方に対する就職支援を行うため、就職支援に関する協定を締結しました。

本協定の締結により、支援対象者に対してより綿密な支援を行い、就職支援を実施していきます。

●支援内容

- ・仕事と治療の両立に関するご相談
- ・適切な求人の選定、求人情報の提供・紹介
- ・面接の準備（履歴書・職務経歴書の添削、模擬面接等）
- ・その他再就職までに軽減・解消が必要なお悩み・不安など

●実施日

毎月第1木曜日・第3金曜日
11:00～13:00

※原則予約制

●実施場所

相模原協同病院
患者総合支援センターまたは
1回外来フロア（エレベーター横）



▶広報誌 Green 読者アンケートへのご協力について

相模原協同病院では地域向け広報誌「Green」の充実した誌面作りのために、読者の皆さまのご意見、ご要望、ご感想をお聞きするアンケートを実施しますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



アンケートはこちら▲

オーナー、小野寺洋治さんにお話を伺いました

お2人とも秋田県出身の小野寺夫妻、神奈川県内の電子機器メーカーでの出会いをきっかけに家庭を築きました。カフェのオープン考えたのは、洋治さんが定年退職を迎えた後のことです。「子どもが独立して、夫婦だけになると会話が少なくて（笑）。会話のきっかけになればと犬を飼いはじめたんです。犬を飼うと、今度は近所の皆さんとお付き合いが増えまして、みんなで集える場所を作りたいと考えるようになりまして」と洋治さん。そんなとき、旅行先で「これからの時間をどうやって過ごそうか」と語り合ったところ、洋治さんが打ち明けた希望は「カフェをオープンしてみたい」とのこと。夫婦でぴったりと息が合い、2017年におうちカフェ Fika をオープンしました。通常や夕方5時に閉店しますが、ときには知り合いの音楽家を招いて、ライブイベントを開催することもあります。懐かしいフォークソングや美しいクラシック、ときにはハワイアンなど、ジャ



タマハムサンド

¥950(税込)

ンはさまざま。アルコール類の提供はありませんが、持参した美酒をたしなむのはOK、とリラックスした雰囲気でお楽しみいただけます。「店名のFikaはスウェーデン語です。スウェーデンでは仲の良い友達とコーヒーやお茶を囲んでおしゃべりして過ごす『お茶の時間』を大切にしている、その時間を『Fika』というんです」と洋治さんがお店の名前に込めた想いを語ってくれました。実際、Fikaにはちょっとした悩みを話して訪れて、帰っていくお客さまも多いのだとか。小野寺夫妻の温かなお人柄が、心をほっこり癒す時間を提供しています。



お店情報

- 所在地: 相模原市緑区西橋本3-14-4
- 電話: 042-715-1367
- 営業時間: AM11:00～PM17:00
- 休業日: 木・日曜日、祝祭日
- 駐車場: なし(公共交通機関でお越しください)
- ※「洋子の気まぐれランチ」は前日までに要予約

フェイスブック

